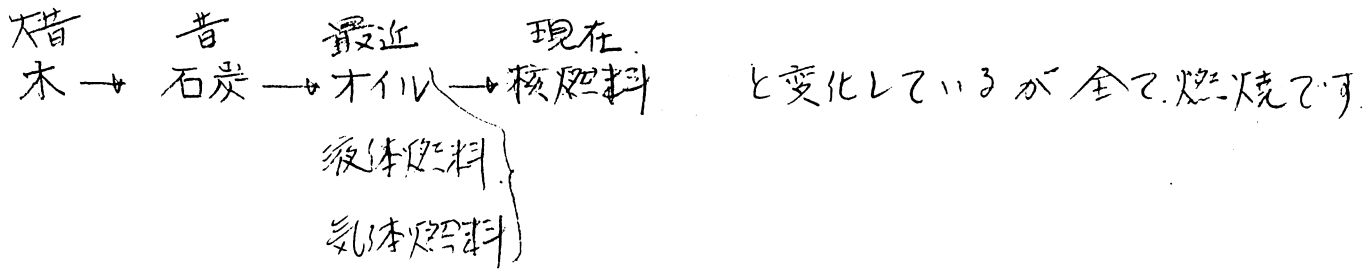
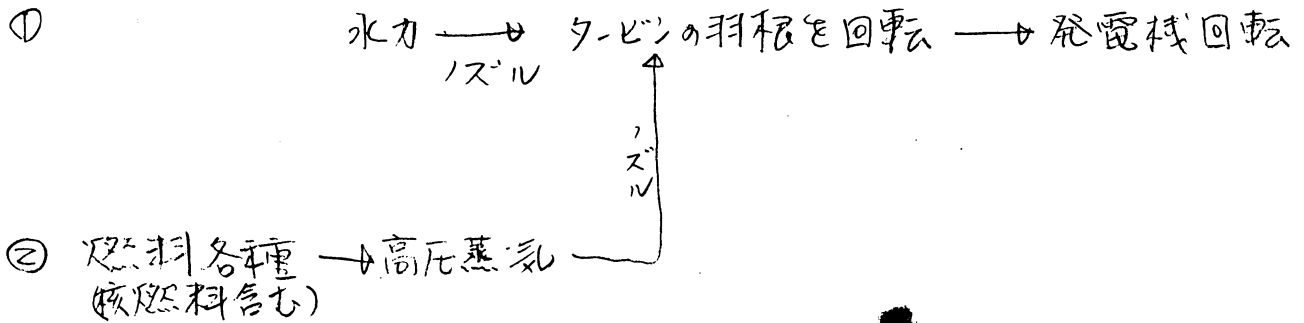


現在 地球のエネルギーは 燃焼のエネルギーを使用している。

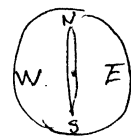
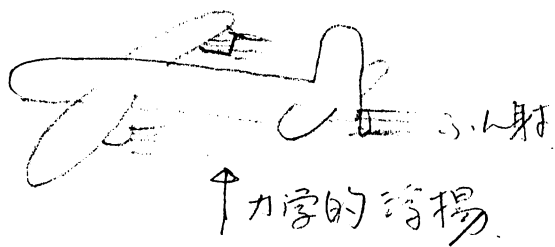


(A) 生活産業のための発電方法は ----- 燃焼



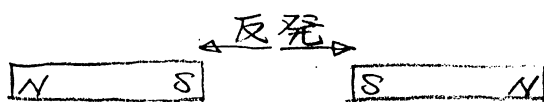
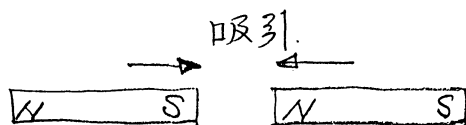
- (B) 陸上用自動車 ----- 燃焼 → 車輪回転
- 海上 (船) ----- 燃焼 → スクリュー回転
- 空 (飛行機, ロケット) ----- 燃焼 → ふん射, 推力, 反浮揚

地球上のエネルギーの基本は将来どこまで進んでも燃焼で終るのか?
燃焼だけなのか?

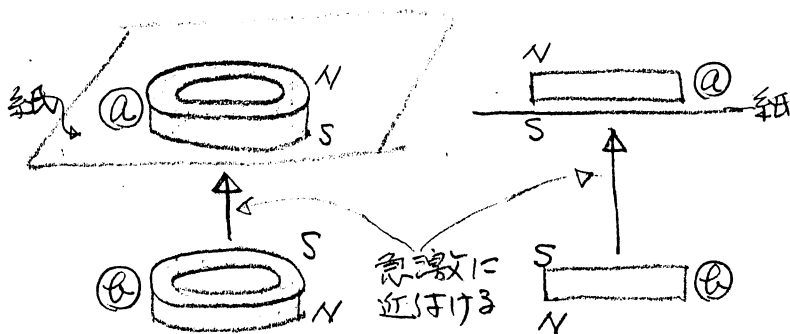


現在存在する磁場
(エネルギー)

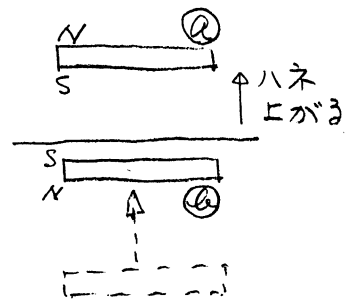
方位磁石は現存する地球磁場(エネルギー)に対し南北を示している。



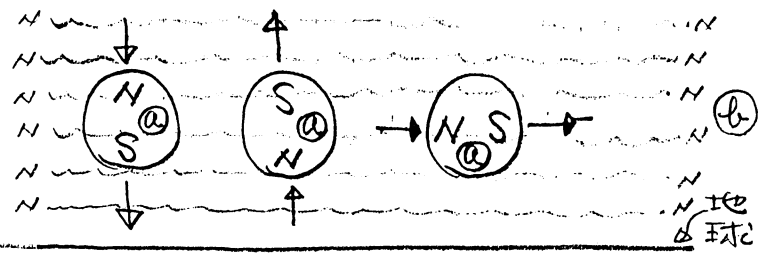
現存するこの事実。自然界を理解して。コントロールし。生活及産業に使用出来ないか？



紙の上に置いた磁石(こまがらぬもの)を別の磁石にて下部より急激に接近させると。



紙の上の磁石はハネ上がる。

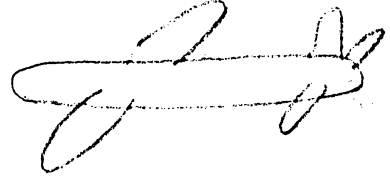


① ② ③

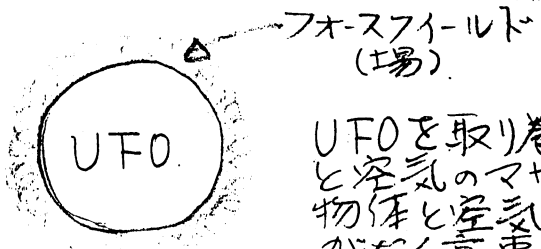
前記 ② を UFO として 機体内に磁場コントロール装置を設け、②の地球磁場の内で制御すると。

- 1) 自然磁場 N の中で
 - ① $N \leftrightarrow N$ 反発 $N \leftrightarrow S$ 吸引で下方へ
 - ② $N \leftrightarrow S$ 吸引 $N \leftrightarrow N$ 反発で上方へ
 - ③ $N \leftrightarrow N$ 反発 $N \leftrightarrow S$ 吸引で右方へ
- 飛行する事が出来る。

高速飛行



物体と空気のマサツ抵抗に依り、速度に限度が有る。

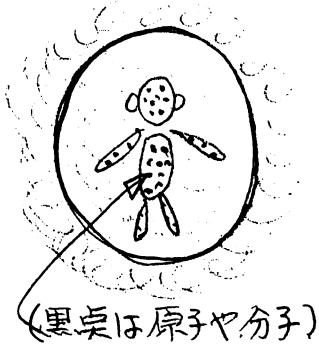


UFO を取り巻くフィールドと空気のマサツの為、物体と空気の接触抵抗がなく高速に耐える。

加速度 (G)

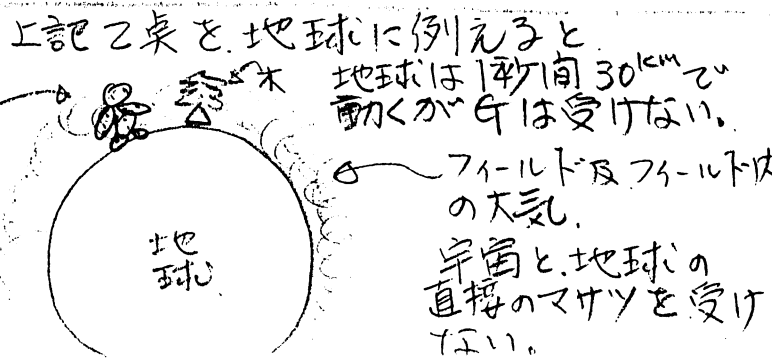
宇宙飛行士は G の影響を受ける。
電車の発車、停車の際よろめく。
車がカーブする時体が片寄る。

上記の如く、電車、車は、人間とは別に単独に動く。
人間は、乗っているだけで一塊の物である。



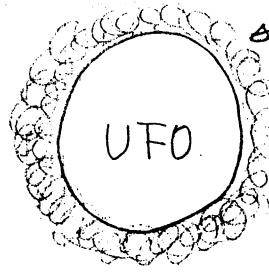
UFO を取り巻くフィールドは、フィールド内に有る原子や分子に等しく作用する。(個々の物体に作用しているのではない)
UFO が高速で運動すると、フィールド内の原子、分子も同じ速度で動く。
その為 G は受けない。

(水、空気、人間、動物、植物)
地球上の全ての物体の原子、分子は等しく作用を受けている。G を受けない。



上記の如くを地球に例えすと、地球は1秒間 30 km で動くが G は受けない。

UFO. 飛行中の色



← UFOが飛行する為に、コントロールしながら発生した磁気の為、粒子がイオン化して光る。

オーロラは、地球磁場密度の高い南北にて粒子がイオン化して光る。

UFOが光るのは、日中以外である。日中は太陽光に負ける(オーロラも同じ)

飛行機

空気抵抗及推進力、浮力に限度有。
スピードに限度有。

音がする。

UFO

物体と大気等のマサツが無い為、高速度が可能。

加速度、高速度、ジグザグ等の可能も。
無音である。(夕方の空気のマサツ音は有)

自然界を理解する事は、自然界の流れの中で自からをコントロールする事が出来る。
UFOは、宇宙人が、自然界(宇宙)を理解して、自然界の流れの中で自分達のものとした。

なぜUFOは来るのか?

なぜ地球人に製造法を教えないのか? etc. 次回。

ガリレオが、「それでも地球は回っている」と云ったのは今から347年前。

ライト兄弟が初めて空を飛んだのは76年前

10年前に人間が月に着地し、今日は木星の衛星の噴火をとらえ、
明日は何を.....

宇宙及自然界は深遠であり正直です。現在の科学で実証されないものは、信じないのか? 実証されないものは信じるのか?

太陽系は、生まれて40億年、銀河系の中では新しい方です。

地球の科学は、又年。